

天才アート KYOTO®



天才アートとは、障
のある人やひきこも
り者などの多くがも
っている優れた感性
と表現力、そこから湧
き出る独創的なアート
作品に対して、NPO 法
人 障害者芸術推進研
究機構（天才アート
KYOTO）が独自にネー
ミングしたものです。
当機構は天才アートを
推進し、その啓発・
普及活動を積極的行
っています。

天才アートとは、障
のある人やひきこも
り者などの多くがも
っている優れた感性
と表現力、そこから湧
き出る独創的なアート
作品に対して、NPO 法
人 障害者芸術推進研
究機構（天才アート
KYOTO）が独自にネー
ミングしたものです。
当機構は天才アートを
推進し、その啓発・
普及活動を積極的行
っています。



発行日 2024年3月20日（水・祝）

発行者 特定非営利活動法人
障害者芸術推進研究機構

天才アート KYOTO

発行所 〒603-8226
京都市北区紫野西舟岡町2番地
ふれあい共生館「きたアトリエ」
info@tensai-art.kyoto
http://tensai-art.kyoto

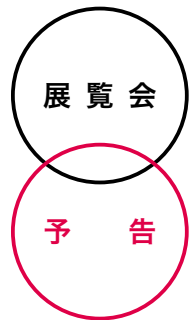
編集協力 株式会社 三六六

天才アート

検索



木下アラン海 Kinoshita Aran Rei 2002年生 『無題』 画用紙・クレパス 790×1,095mm 2023年制作



第6回天才アート企画展 (予告)

2024年度は、久々に展示作品のテーマや要素を絞った第6回天才アート企画展を開催します。

会場のある伏見は、昔「伏水」と書かれました。酒蔵が多く酒どころで名水の地として有名なことと、「万物の根源は水である」の名言があるなど、コロナ禍がほぼ明けようとしている今、新たな気持ちで進んで行けるよう「Aqua(水)・流れるもの」を題材にした作品を紹介させていただく予定です。

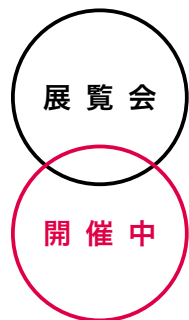
企画展は、第5回の2019年以来的開催となります。季節の良い時期での開催となりますので、どうぞご期待ください。

会期 2024年5月8日(水)～5月18日(土)
時間 13時～17時
会場 アトリエ 悠

京都市伏見区桃山新町7丁目463-1
京阪電車「伏見桃山」
近鉄電車「桃山御陵前」
市バス 「肥後町」

テーマ 「Aqua(水)」(仮題)
主催 障害者芸術推進研究機構
共催 京都市教育委員会(予定)

※作品データを活用したグッズ販売も行います。



青空美術館16号開設

2024年2月19日(月)より、青空美術館の第16号を開設しました。

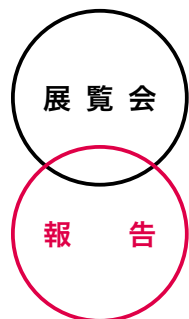
会場は、京都中央信用金庫三条支店の建替え工事現場の囲い塀です。千本通と三条通の交差点の南西角地にあり、通行車両や人通りも多く注目を浴びています。

作品パネル7点に青空美術館のロゴパネルとあいさつパネルを展示しています。近くにお出かけの際にはぜひご高覧ください。
展示期間…2024年2月19日(月)～同年12月末予定

主催…NPO法人障害者芸術推進研究機構
開設協力…株式会社吉村建設工業
パネル製作協賛…株式会社SCREENホールディングス



後院通に面した工事囲い塀の展示の様子



第8回『公共空間にアートの彩り！』 展好評裡に終了



ポスターパネルを見ながら歩く人たち

2023年11月9日(木)～24年1月28日(日)の会期で、四条通り地下道で開催していた第7回公共空間にアートの彩り！展が終了しました。

新型コロナウイルス感染症の終息に伴う人流の回復などで、81日間の会期中には推定で80万人近い人が見られたものと思われまます。今年も京都市歩くまち京都推進室等とのコラボで継続予定です。

新装の「コープ二条駅」展示

2月19日(月)から3月3日(日)までの14日間、二条駅前に昨秋オープンしたコープ二条駅2階フリースペース「KYOTO Co-Lab(きょうとくらぼ)」で、当機構の作家作品のポスター13点を展示しました。

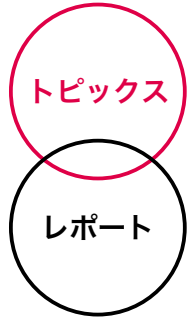
駐車場から売場への動線上での展示で、家族連れなど多くの方に見ていただき、関心を寄せていただきました。



作品ポスターに見入る買い物客

23日(祝)にはグッズ販売を行い、会報も配布しました。お立ち寄りいただいた方の中には、画材や制作の様子を尋ねられたり、「工事中の青空美術館の時から、周りに溶け込んですてきな温かい絵だなあと思っていました」などのお声もいただきました。

設置時には、副店長さまや従業員さまなどから、「一度に明るくなった」「雰囲気良かった」とのお声もいただきました。



原画や複製画のレンタルで、職場環境整備と支援を両立

当機構では、これまでに作品5千点を收藏し、2016年から複製画のレンタル事業を開始し、作家に収益を還元してきました。また、2020年からは原画の作品レンタルも始め、同様に作家に収益を還元しています。

原画や複製画をオフィスや病院などのロビー、会議室、商談スペースなどに展示していただくことで、空間のイメージが変わり、会話も弾むようになります。レンタルをご利用いただいている事例をご紹介します。

【株式会社村田製作所さま】

2023年より、作品レンタルをご採用いただいている株式会社村田製作所さまでは、引き続き2024年も新しい作品2点を、社内アンケートによりご選定されて更新していただきました。

3月4日当機構スタッフにより、京都府長岡京市の同社本社工1階ロビーに新作品2点を搬入・設置しました。昨年度に注文制作でご購入いただいた「洛中洛外電子図」の横に新作品を展示しています。

これまでの作品と同様に、社員の皆さまと会社を訪れるお客さまの注目を集め、感銘していただけたと思います。



左の2点が今回更新の作品。右の作品は昨年度お買上げの作品

【株式会社堀場製作所さま】

本年より、株式会社堀場製作所さまに作品レンタルを新規にご採用いただきました。昨年秋に当機構のきたアトリエにお越しになり、作品や作家の制作中の様子を見学され、内定をいただきました。その後本年1月に再びアトリエを訪問され、本社屋1階会議室に飾る4作品をご選定いただきました。

その後、額装と作品キャプションや説明パネルを整えて、2024年2月13日にスタッフ3名で同社本社に搬入・設置をしま



会議室を飾る作品

した。会議室ごとに作風の異なる作品が展示され、ご商談の来客と社員の方々との間で「きつと話題になる」と同社のご担当者の方からも期待をされてのスタートとなりました。

【洛和会音羽病院さま】

2016年より複製画のレンタルを採用していただいている洛和会音羽病院さまでは、ロビーに天才アートギャラリーを設けて8点の作品を展示されています。毎年作品の入れ替えを実施していただき、本年で8年目となります。

作品の選択から搬入、設置、搬出まで、全て当機構に任せていただき、2人のス



洛和会音羽病院の天才アートギャラリー



天才アートギャラリー説明パネル

スタッフで全作業を完了しました。病院を訪れる患者さまやご家族からは、鮮やかな色使いや想像を超えた作品の世界を楽しみにされている方も多く、病院スタッフの皆さまからも好評をいただいています。

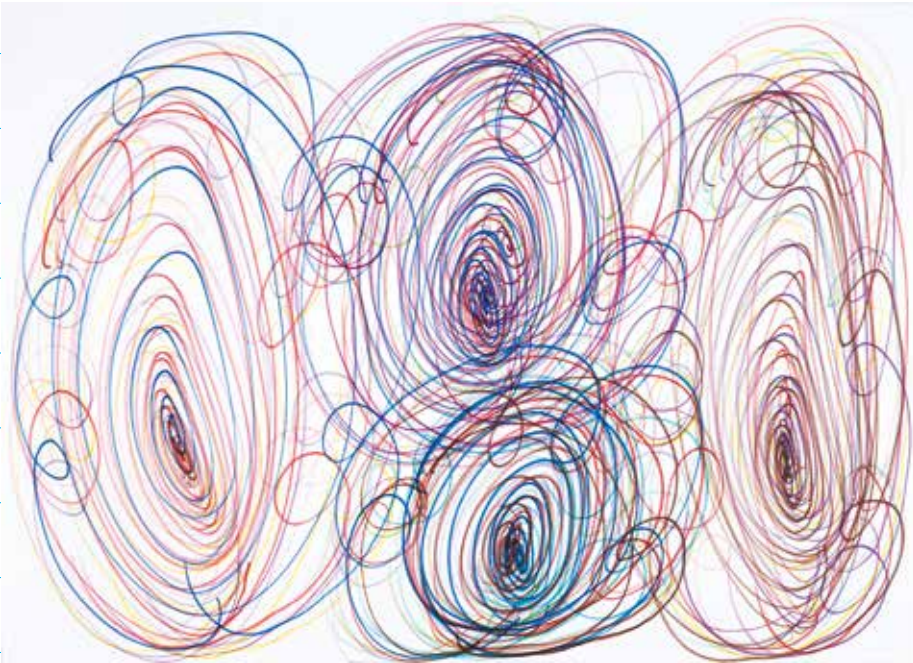


『⑥』 画用紙・色えんぴつ、H380×W540mm、2022年制作

足立 茉莉

足立 茉莉 Adachi Mari 2000年生

足立のドローイングはさまざまな色彩のペンや色えんぴつによる渦巻き模様で構成されています。多重に重なった渦巻は「花丸マーク」や「花火」のようにも、あるいは花のようにも見えます。単調にしてシンプルな作品に対して鑑賞者は、「これは〇〇かもしれない」と作品を見立て、さまざまな解釈を生み出します。鑑賞者がどのように解釈しようとも、おのずとダイナミックに描く足立の身体性が浮かび上がります。



『無題 20221008-④』 画用紙・ペン、H395×W545mm、2022年制作



『無題 20221008-⑤』 画用紙・ペン、H395×W545mm、2022年制作

義輝



『無題』 コピー用紙・ペン、H295×W209mm、 2018年制作

小寺 菜月 1993年生まれ

小寺は、紙をハサミで切った左右対称の切り絵シリーズと、うさぎやライオンなど細い線でかわいく描かれたキャラクターの絵シリーズがあります。二つの全く異なったタッチで制作された作品は、一見同一作家の作品でないかのように思えますが、どの作品もどこかユーモラスで人懐っこさが通底しています。



『お花と葉っぱと野菜の木』 コピー用紙・色画用紙(黒)、H235×W100mm、2014年制作

小寺 菜月



若林

『無題』 キャンバス・アクリル絵の具、H652×W530mm、2020年制作

若林 義輝 Wakabayashi Yoshiki 1998年生

若林が絵を描く時、そこにはモチーフらしきものはありません。しかし、彼はゆっくりと「何か」を見つめるように、あるいは道を探索するように描きます。そうして思索するかのように長い時間をかけて作品は紡ぎ生まれます。そして、作品が完成したのち自らタイトルを付けますが、時に「無題」のままになることもあります。それは、作者にとって造型することが最大の目的であるからです。彼の作品は、彼自身の内側で燃え続ける「命」そのものとも言えるのかも知れません。

ご家族さまより寄稿

天才アートで広がる世界

山川結花

● 仮想旅行と創作活動

「天才アートKYOTO」にお世話になって10年が過ぎました。デイサービスセンターで介護補助の仕事をしなが、月に1回アトリエ会へ作品を提出しに行くことを楽しみに絵を描いています。

隆晟は幼少期から電車が大好きで、毎日のように近所の踏切に行き、何時間でも電車を見ている子どもでした。プラレールで遊んだり、電車の絵本やビデオを見たりしていましたが、そのうち、電車から路線図、路線図から地図、地図から観光地と興味が広がっていき、今の旅行好きにつながっていったと思います。今では一人で旅行に出かけては、印象に残る建物や寺社仏閣、風景を写真に撮り、心に刻み、Google Earthで世界のいろいろな街を見て仮想旅行を楽しんでは、自宅で絵に描き起こしています。

● 先生に褒められ自信回復

今でこそ楽しそうに集中して制作活動していますが、学童期〜思春期前半頃までは、絵に対して苦手意識が強く、うまく描けないことにコンプレックスを持っていました。小学校の低学年の頃から、どうして自分はいまよく描けないのだろうか？と思っていたそうです。その頃がんばって描いたカブトムシの絵を見た私が、「これは何を描いたのかな？ う〜ん何だろう」と無神経

な一言。深く傷つけてしまったのです。それから絵を描くことが嫌だったそうです。そのことを知ったのは、隆晟が白河総合支援学校に入ってからでした。何で絵が嫌いになったか本人から真実を伝えられ（私はそのように言ったことをすっかり忘れていました）、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。本当に情けない母です。

白河総合支援学校に入学後、選択科目が大嫌いな美術になり（本当は音楽を希望していましたが、希望者が多くクジではずれてしまったのです）、いやいや絵を描くことになりました。ところが、担当の伊澤先生に「山ちゃんの絵は色使いが本場にきれいで素敵だね」と毎回褒められ、2010年に京都市の「小さな巨匠展」に選ばれたことで、絵を描くことに興味が湧き、喜んで絵を描くようになりました。するとまた先生に褒めていただき、自信につながり、そして喜んで絵に向かうという好循環になっていきました。

私の一言で傷ついて絵が嫌いになり、伊澤先生の一言で今度は絵を描くことが大好きに変わり、自己肯定感も高まっています。



2010年「小さな巨匠展」に選ばれた作品



東日本大震災後、復興を願って初めて描いた作品

いろいろなことに自信を持って取り組めるようになりました。

● 創作活動で充実した毎日

11年3月、白河総合支援学校を卒業してすぐに東日本大震災があり、多くの人が犠牲になりました。連日の報道を見て隆晟も心を傷め何か応援したいと考え、絵を描くことで少しでも勇気付けることができたと思つたそうです。虹の線路を走る電車に、一日も早い復興と希望を願い、初めての作品を描きました。

就労してからは、仕事を覚えることや、人間関係など緊張の毎日でしたが、2年ほど過ぎた頃から少しずつ余裕が出てくるようになり、休日に鉄道を使って、近場から遠くは日光東照宮まで一人プチ旅行に出かけるようになりました。ちょうどそのころ、伊澤先生から連絡を頂き、隆晟にぴったりな活動の場所があるとのことで「天才アートKYOTO」をご紹介いただきました。13年に早速家族みんなで見学に伺い、個性



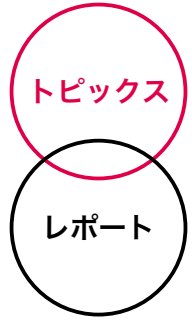
天才アートで絵葉書にしてもらった「談山神社」

豊かな作家の皆さまの作品を拝見させていただきました。重光先生より、アトリエ会では強制されることなく自由な活動をしていると伺い、是非参加したいとお願ひしました。入会当初は月に2回アトリエ会に参加して活動していましたが、数年後には白河の仲良しの同

級生2人もアトリエ会と一緒に活動することとなり、活動日数も増えました。活動後にはとりとめの話や仕事の話、愚痴などを聞いてもらって、ストレス発散もできて、本当に有意義な時間を過ごせていました。コロナ禍でアトリエ会での活動は減りましたが、自宅で変わらず意欲的に制作活動をしています。

「天才アート」のおかげで自分の作品がいろいろなところで展示され、たくさんの方に見ていただく機会を与えられたことで制作意欲につながり、何より絵を描くのが楽しく充実した時間を過ごせています。将来のことを考えると不安や心配なことばかりですが、「天才アート」が隆晟の安心基地になって、楽しく充実した余暇活動ができればと願っています。

末筆になりましたが、のびのびと活動する場でもいつも温かく見守っていただき、いろいろなチャンスを与えてくださる「天才アート」に関わる皆さまに深く感謝申し上げます。



作品アーカイブの活用拡大

当機構では、収蔵作品5000点超の内、現在2600点(年度内には3000点を予定)を高精度のデジタルアーカイブ化して広く公開し、さまざまな分野・シーンでの活用を促進しています。

データを利用いただくことにより、障りのある人の芸術作品の浸透を図り、その評価を高めることを目指しています。また、アーカイブの活用による収益を作家に還元し、経済的自立に貢献しています。

これまで、企業や社会团体等の広報誌や機関誌への採用のほか、商品のパッケージ等にも採用されています。



(公財)世界人権問題研究センターさま季刊誌「グローブ」



株式会社SCREENホールディングスさまクリスマスカード、年賀状



株式会社増田医科器械さま広報誌「MASUDANAU」

アーカイブデータ活用事例のいろいろ



イオンモール京都桂川のイオンホールで開催されたAmiAmiさまの展示

また近頃は、「生活シーンにアートの彩りを！」のニーズが高まってきており、作品だけでなく高精度の「複製画」を求める方が増えてきています。当機構でも複製画を制作していますが、広くアーカイブを公開していることから、「アート作品レンタル」の企業等からも引き合いが来ています。また、アーカイブデータを活用したアートのパネルのレンタルと販売の事業を展開されている合同会社AmiAmi(本社:京都市)さまともタイアップしています。

山田繊維(株)さまの「ふるしきSDGs LIFE 2024」に協力

5月17日(金)〜19日(日)の3日間、山田繊維(株)さまが京都文化博物館別館を会場に「ふるしきSDGs LIFE 2024」を開催されます。今年のテーマは「ポードレス」。国も世代も個性も飛び越えて、サステイナブルで楽しい暮らしを体験しよう」です。

同社には水玉みりさんと土屋彰男さんの作品を「アール・ブリュットふるしき」として企画・販売していただいております。天才アーティストOは、実行委員会に参画させていただきます。

会場では、参加型の楽しいワークショップやスタンプラリーなどが企画され、当機構のグッズも販売する予定です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



昨年度の当機構紹介コーナー

昨年度の案内チラシ

これまでの技術でつくるか、
これからの技術をつくるか。



村田機械株式会社

<https://www.muratec.jp>
本社/京都市伏見区竹田向代町136

- ▶ ロジスティクスシステム
- ▶ ファクトリーオートメーション
- ▶ 半導体工場FAシステム
- ▶ 繊維機械
- ▶ 工作機械
- ▶ シートメタル加工機
- ▶ デジタル複合機/情報機器
- ▶ 生産管理システム

作家登録説明会を開催

当機構では、登録作家の次年度への継続手続きのため、毎年度末に作家登録説明会を実施しています。その第1回目を3月9日(土) 13時30分より、東山アトリエにて開催しました。雪が降る寒い日でしたが、作家ご本人、保護者さまなどにご参加いただき、作家登録要件や今年度の事業予定、アトリエの開催予定日、退会者の作品の取扱などを説明しました。

第2回目の説明会は、3月24日(日)に実施する予定です。両日とも参加できない方には、後日オンラインや電話などで連絡をいただき、個別に対応させていただきます。なお、SCREENホールディングスさまからサステイナブル活動で栽培された無洗米「スクリーン米」を多数ご寄贈いただきましたので、この機会を利用して参加の皆さまに配布しました。



東山アトリエでの登録説明会

企業・団体の助成、協賛の募集

当機構の運営予算の多くは、企業さまや団体さまの助成金や協賛金などによって支えられています。

NPO法人として2011年の活動開始以来、登録作家は15人から現在49人と大幅に増え、『天才アート展』や『青空美術館』などの各種展示事業、作品收藏と作品アーカイブ事業、『会報』発行などの広報事業等々幅広く取り組んでいます。

展示や協働事業などのオフアワーが年々増えてきており、画材費の高騰などとともに資金の確保が常に課題となっています。さらに多くに企業などのご助成やご協賛の支援をお願い申し上げます。

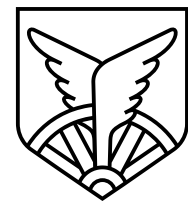
【特別協賛などの企業さま・団体さま】

- 株式会社 SCREENホールディングスさま
- 一般財団法人 NISSHA財団さま
- 株式会社村田製作所さま
- 株式会社村田製作所さま
- 株式会社村田製作所さま

〈編集後記〉

本年は、お正月早々から能登半島地震が発生し、被災された皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。また、1日も早い復興をお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症が収束となり、以前のような日常に戻ってきたとはいえ、まだまだ安心できる状況とは言えません。しかし、日中の日差しは幾分和らぎ、春本番が待ち遠しい季節となりました。草花が芽吹き、動物の活動も活発になるこの時季、アート制作活動にも一段と力が入るのではないのでしょうか。当機構も制作環境の充実に務め、作家の皆さまの創作意欲に添えていきたいと思っております。

HAGURUMA



【表紙の作品について】

木下は、画用紙にクレパスを用いて全身を使って描きます。時には床に大きな画用紙を広げて描くこともあります。彼が作品の制作に取り掛かると、箱分のクレパスが無くなるまで猛烈な勢いで描き続けます。全身の力を込めて描き出されたものは、ところどころにクレパスの破片がこびり付き、あたかも彼自身の「生命」すらも塗り込んでいるかのような強烈な色彩とエネルギーを放ちます。



木下アラン海 Kinoshita
Aran Rei 2002年生
『無題』画用紙・クレパス
790x1,095mm 2023年
制作

も彼自身の「生命」すらも塗り込んでいるかのような強烈な色彩とエネルギーを放ちます。

画材・額縁
画箋堂
京都・河原町五条

京都上鳥羽の印刷会社

MORITA
(有)森田美術印刷

SCREEN

京都市南区上鳥羽火打形町12 ☎075-692-3131

一般財団法人

NISSHA財団

一級建築士事務所
町家・古民家再生 / マンション改修
**(株)共立ホーム
エンジニアリング**
06 (6788) 5402 kap@hyper.ocn.ne.jp

妙心寺 塔頭

養徳院

永代供養のお寺 075-461-2898

夢、そして誇り。この街で…
洛和会ヘルスケアシステム®

洛和会丸太町病院 洛和会音羽病院 洛和会音羽記念病院
洛和会音羽リハビリテーション病院 洛和会東寺南病院

お客様に寄り添い、安心と安全をお届けします
総合リスクコンサルタント
株式会社プラニ
☎ 075-353-2522

YoShiMura
Yoshimura Construction co., Ltd.

吉村建設工業(株)

京都市中京区西ノ京小倉町135番地
075-802-1360